

学校教育計画（令和6年度～令和9年度の4年間）

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上進学重点校エントリー校として学力向上と高いレベルでの進路希望実現に向け適切な教育課程を編成するとともに、不断のカリキュラムマネジメントにより授業改善・教育活動の充実に取り組む。 ・知識の習得とともに、生徒が主体的に学ぶ意欲を高め、自ら課題を発見し解決する探究力や思考力・判断力・表現力を育成する。 ・学校行事や生徒会活動等を通じ達成感を得ることで生徒の自己肯定感を高め、成長を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領に基づいた教育課程の完全実施に伴い、継続して検証を行い、改善を図る。 ・テーマを設定し、組織的で継続的な授業改善に取り組むとともに、ICTを活用した授業スタイルを推進する。 ・3年間の見通しを明確にしたプログラムを構築し、探究学習を充実させる。 ・行事や生徒会活動等において生徒をバランスよく適切にサポートし自信を持たせる。
2	生徒指導 ・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の様々な場面で社会規範や自己管理能力等社会人として必要な資質を身に付けさせる「人づくり」を行う。 ・部活動を通じて社会性や自主性、協調性を涵養するとともに、達成感を得ることで生徒の自己肯定感を高め、成長を促す。 ・生徒一人ひとりの個に応じた組織的な教育相談体制を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会規範を育成するために積極的に外部講師等を活用した指導を行う。 ・部活動の高い加入率を維持するとともに、限られた時間や環境の中で生徒が満足できる活動を求めながら内容を充実させ、人間力を高める。 ・SCやSSWと連携しながら「かながわ子どもサポートドック」等を活用し生徒一人ひとりに適切な支援を行う。
3	進路指導 ・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会や地域社会で活躍できる高い資質・能力を持った人材を育成するため、学校外の教育力も活用してキャリア教育、グローバル教育を充実させる。 ・生徒が行きたい進路先に行けるよう、体系的な3年間の進路指導プログラムを計画・実践するとともに、適切な支援を行い、高いレベルでの進路希望を実現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会で活躍できる人材を育成するため英検取得に向けたサポート体制や国内語学研修を充実させるとともに、総合的な探究の時間等を通じディベート力の向上を図る。 ・データ等に基づいた進路ガイダンス力を向上させ、個々に対応したキャリアカウンセリングを実施し、具体的な方向性や可能性を示しながら生徒に寄り添うことで生徒の背中を押し挑戦させる。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や家庭との連携・協働による教育活動を推進し、地域・家庭の期待や信頼に応える学校づくりを進める。 ・学校の魅力や特色及びスクールポリシー等学校の情報を積極的に外部へ発信する等広報活動に努め、本校の求める生徒像を明確にするとともに、ミスマッチを未然に防ぎ本校で学びたいと望む志願者を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な保護者等との面談等の機会を設定する他、日々の連絡を密にし、家庭との連携を深める。 ・地域行事への参加の他、防災訓練等で地域と学校が交流する機会を充実させる。 ・ホームページ等の充実を図り、効果的に学校の情報を発信する。 ・学校説明会等の広報活動の時期、内容、ねらい等を明確にし、戦略的な広報活動を実施する。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な研修や声かけを通じ「北陵から事故を出さない」という強い気持ちを職員が持つことで職員一人ひとりの危機管理意識を高め、業務の共有・協働・効率化を進め、不祥事を防止する。 ・生徒が安心安全に学校生活を送ることができるよう学習環境や防災体制の整備に取り組む。 ・円滑で効率的な学校運営のため常に業務の検証、改善を図り、風通しのよい職場づくりを進めるとともに、教員の働き方改革に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止会議を効果的に活用しながら定期的な研修を実施することに加え、様々な場面で職員の意識を啓発する働きかけを行い不祥事防止に努める。 ・現状に満足せず、「変わらないために変わり続ける」という思いを持ち、業務改善に取り組み、働き方改革を進める。 ・学校運営協議会（北陵協議会）における意見や学校評価部会の評価を学校運営に活用する。 ・学校の方向性を共有し、職員間の同僚性や心理的安全性を醸成、涵養することで職場環境の改善や職員意識の変容を図り、働きやすい職場づくりを進める。